



川崎市看護協会ニュース

vol. 97

公益社団法人 川崎市看護協会
川崎市中原区今井上町1-34和田ビル3F
TEL.044-711-3995 FAX.044-711-5103

<http://www.kawa-kango.jp/>
E-mail : mail1@kawa-kango.jp
会員数:3,884人(令和2年7月31日現在)

令和2年度

川崎市看護協会 通常総会

令和2年6月25日(木)

今年度の通常総会は、新型コロナウイルス感染症防止のため3密を避け、時間短縮・人数制限があり、参加者24名、委任状3,524名となり議長の総会成立宣言で開催されました。換気のため会場は寒い位でソーシャルディスタンスを保ち、いつもとは違う雰囲気の中、八木副会長の開会、広瀬会長の挨拶で通常総会が始まりました。

報告事項として1. 平成31年度・令和元年度事業報告 2. 令和2年度事業計画 3. 令和2年度収支予算の報告があり、審議事項は、

第一号議案の平成31年度・令和元年度収支決算報告(案)及び監査報告の承認を満場一致で頂きました。

そして広瀬会長より、現場への労いと、少しずつ研修を再開致しますとの力強い言葉で総会を終えました。

レストア川崎副療養部長 山内 美智子



川崎フロンターレの選手会から医療従事者への応援メッセージです



会長からの 協会事務局の 活動報告

皆さまの日々の看護活動のご尽力に感謝いたしております。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症患者の看護に従事しておられる皆様には、心から敬意を申し上げます。当協会では4月に不足する感染防護資材の確保と供給、PCR検査の対象要件の拡大を川崎市に要望してまいりました。8月5日には、令和3年度の市の予算編成に対し、今後も必要な感染症対策への要望をしてまいりました。引き続き、動向に注視し必要な対応に取り組んでまいります。

会長 広瀬 寿美子

特集 新型コロナウイルス 感染症への対応

感染症病棟



川崎市立川崎病院の新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

川崎市立川崎病院

副院長兼看護部長 千島 美奈子

川崎市立川崎病院は、感染症病床(12床)を備える第二種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症対策「神奈川モデル」で示す高度医療機関としての役割を担っています。

2月のダイヤモンドプリンセス号の感染者受け入れから約半年が経過しました。この間、救命病棟をコロナ病床として拡張、専属の医師からなるコロナチームの編成、救命病棟に代わる重症患者受け入れ病棟の体制作り、看護師確保の為の病棟閉鎖等、三次救急応需病院としての役割も継続しつつ変化する状況に対応してきました。過去に経験のない予測不能な事態に対し、現状と対策の根拠をタイムリーに職員に伝え、そして何よりも職員の不安に対し最大限に対応できるよう努めてきました。未知の感染症で若年層が重症化していく状況を目の当たりにした看護師の不安と恐怖は、言葉では言い表せないものがありました。部署を守る師長の丁寧な関わり、人員配置、部署異動、休暇の取得、防護具の安全使用の徹底、また、誹謗中傷

に対しては、感染防止管理による院内環境の安全性を広報し、関係各所との調整を行ってきました。

6月には地域包括ケアシステムにおける当院の役割として、高齢者介護施設(川崎区・幸区)への『コロナ出前講座』を開始しました。重症化しやすい高齢者が入所している施設に感染管理認定看護師が訪問し、講座と施設ラウンドを行い、アドバイス等を行っています。

まだまだ闘いは続きます。これまでの経験を活かしたタイムリーなシフト変換、また、当院のスローガンである「入れない」「罹らない」「拡げない」への取り組みが重要です。各地で感染が拡大する中、当院においても看護師の市中感染が発生し、多くの方々に多大なるご迷惑をおかけしました。しかし、感染拡大を防止できたことは、自信につながる結果ともなりました。

金井病院長の「決断力」「発信力」そして「職員を守る精神」の元、職員一丸となって取り組んでいきたいと思います。



つづじ(発熱)外来



救命病棟

救命病棟 ミンティー設置
(空気感染隔離ユニット)

励ましのメッセージ



出前講座

訪問看護ステーションにおける新型コロナウイルス感染症予防対策の取り組み

川崎市訪問看護ステーション協議会 代表 佐々木 直美

今年2月より、新型コロナウイルスの影響で私たち訪問看護の業務体制も変更となりました。当初は不安な日々が続いていました。利用者様への注意喚起や朝のミーティングやカンファレンスをオンラインやメール配信したり、電車で毎日通勤している職員には業務車両を使用してもらい、時差出勤に変更して訪問先に直行する等、クラスターを起こさないように、可能な限り事務所に集まらずにすむ努力をし、現状も継続しているところです。



その様な中3月に入り、「同居家族がコロナ感染しているかもしれない」という第一弾の対応がありました。主治医の的確な判断と指示で不安も増すことなく冷静な対応ができました。特に利用者様への配慮には注意しメールでの連絡を小まめに行いました。その後も、コロナ対策について、近隣の在宅診療の医師、ケアマネ、訪問介護の方々とオンライン会議を定期的に開催し、不安の共有や正しい知識・対応を学びながら症例を通して具体的な対策をシミュレーションするなど、日々最新情報を共有するようにしています。

医療者も勿論ですが、介護職の方々も直接的な援助が多く不安が大きい為、医療者が的確な判断や指導・助言をする事でチームとなってコロナ対策が出来ることを日々実感しています。



川崎市地域みまもり支援センターの取り組み

中原区役所地域支援課 課長 吉川 アズサ

中原区役所地域みまもり支援センターは保健所支所として感染症法に係る業務を衛生課で行っており、新型コロナウイルス感染症においても、市民や医療機関からの多くの問い合わせに対応する期間が続きました。衛生課職員を中心に、区役所全体で態勢を組んで対応しています。

地域支援課は保健師が在宅療養者や濃厚接触者



新型コロナウイルス感染症への対応 高齢者施設の取り組み

つくしの里 療養部長 濱田 誠子

まだ先が見えませんが、管理者や事業所指定権者との連携も適切に行っていきたいと思います。



つくしの里

介護施設での新型コロナ感染対策において、まず何よりも大切なものは「感染者を出さないこと」「持ち込まないこと」が基本になります。

そのためには施設での対応、関係者の感染意識が重要となります。当施設では、入所対応として、入所後1週間は個室対応、フロアでの食席も2m以上間隔を保ち、入浴も個別対応を取るなどを行っています。ご家族面会は、受付と入所フロアを繋ぐリモートを利用させていただいている。

職員への感染防止ルールの徹底は、3密を避けた研修会の開催が難しい為、感染委員会で作成したYouTubeを視聴してもらい研修としています。

保育園における 新型コロナウイルス感染症予防対策の取り組み



らいらっく保育園 園長 野本 ヨシ子

らいらっく保育園は平成23年4月開園、令和2年度は0歳から就学前迄116名が在園する認可保育所です。児童福祉法を基とする福祉施設であり、支援対象は園児だけではなく保護者も含まれています。

新型コロナウイルス対応は川崎市保育課の通達を基本に園の取り組みを決定しましたが、業種限定の他に、事情を鑑みてという付帯条件が付いており、必要とする園児の登園は全て受け入れました。消

毒・抗菌設備設置、手洗い、マスクの着用、体温チェックを実施。職員や園児の微症状の早期発見に努め、保育では三密を避けて年齢別クラスで対応。いたずらに制限を掛けるよりも保育所の使命を果たした上で、感染・予防対応に取り組むことが重要であると考えています。



ママナース 働き続けられる喜び 保育園に感謝!!

関東労災病院 看護師 川向 幸乃



新型コロナウイルス感染症の影響で、保育園ごとに対応が変わり不安を感じながら働いていました。娘の通う保育園に確認をとったところ「医療者の皆様が安心して働くように、感染予防に努め最善を尽くします。皆様が安心してお子様を預けられるように、できる限り努力します。」と即答していただきました。

コロナウイルス感染症の拡大前から、園では感

染予防に努めており、2歳児でも手洗いとうがいができるように指導してくださいました。

医療者の子供を預かるのは、保育士さんにも不安があると思います。しかし、保育園が預かってくれなければ、子育てナースは働けません。早く預かってくれるので、安心して仕事ができます。偏見なく、保育を継続してくれている保育園に感謝します。

川崎市看護協会に
ご寄付をいただきました

★感染症拡大予防のためにマスクの寄贈

- ◎多摩区登戸在住の小林様より マスク1,000枚
- ◎東洋羽毛様より マスク1,000枚

★川崎市立井田病院より

- ◎予防衣として活用できるビニール合羽1,300枚

★川崎中原ロータリークラブより

- ◎100万円寄付: 軽自動車購入へ

マスクと合羽は、
川崎市内の訪問看
護ステーションに
配布しました。



病院と地域の看護連携研修

令和元年11月19日開催



病院関係者をはじめ、訪問看護ステーションや地域包括支援センター等、73名の参加がありました。今回は神経難病に焦点をあて、「看護の連携で長期療養者の日常生活をどう支えるか」をテーマに、川崎市健康福祉局の三島さんから「指定神経難病医療助成制度について」講義と、聖マリアンナ医科大学の行田さん、ソフィア訪問看護ステーション鹿島田の鈴木さんから事例発表がありました。

その後の「看護の連携で長期療養者の日常生活をどう支えるか」をテーマにグループワークが行われ、活発な意見交換がなされました。看護と看護の連携により多様な支援の方法の検討することができるということを改めて認識することができました。

(日本医科大学武藏小杉病院 伊藤 桃子)



事例発表

Learning nursing research,
activity report meeting

令和2年2月21日

『学べる看護研究・活動報告会』

令和元年度看護研究・活動報告会が開催され、8施設11演題の発表がありました。退院支援・ターミナルケアの家族支援やライフレビューなど、施設内の看護以外に訪問・認知症看護・在宅支援など様々な内容の発表があり、多くの学びを得る機会となりました。

川崎市立看護短期大学 学長補佐の滝島紀子先生のストレートで歯切れ良い講評は、研究をもう一段階掘り下げ、研究者に対して更に高みを目指す支援になったと思います。

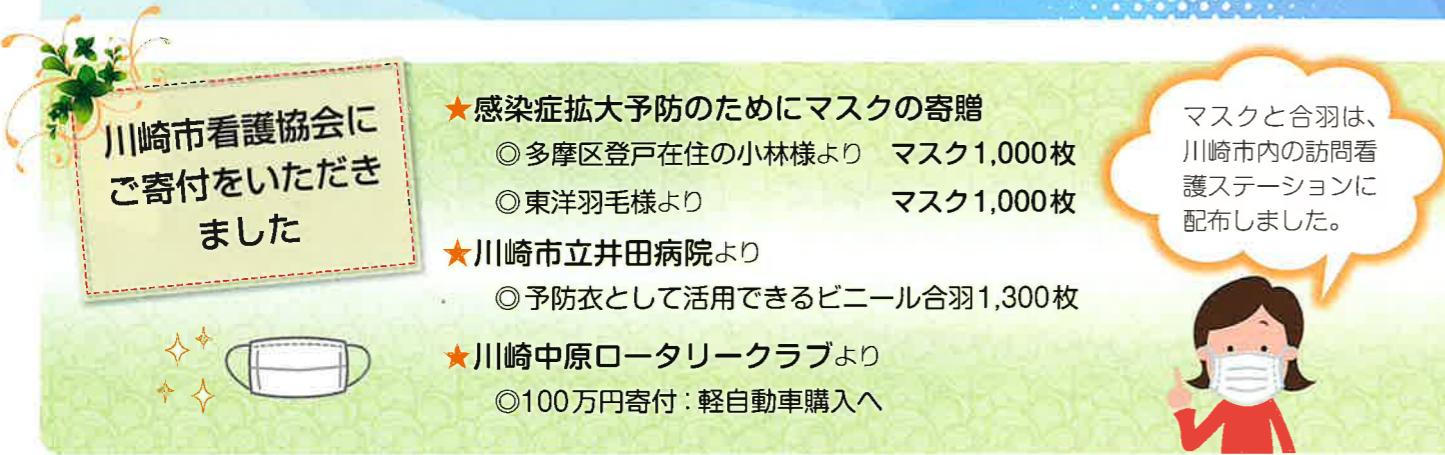


滝島 紀子氏

研究をまとめるための考え方や、視点、言葉の意味を深く追及することなど指導していただき、これから研究に取り組まれる方々にも勉強になったと思います。

看護師として、どのような場所で働くとも常に命に寄り添い、看護に求められることの意味深さを感じ、実践家として研究をまとめることの意義を改めて学んだ報告会でした。

(川崎幸病院 田中 亜由美)



エンドオブライフ研修

令和2年2月8日開催



利用者、家族の意向に沿いながら意思決定を支援し在宅療養を支えるために私たち看護師ができること、心がけることを学ぶ研修でした。病いや老いなどにより、人が人生を終える時期に必要とされる本人の意思を確認しているか？こうすることが幸せと勝手に決めつけていないか？など日々の訪問で自分の価値観を押しつけず本人や家族の心に寄り添えているか、思いを聞け

山下由香氏

ているかなどを振り返ることができました。グループ討論では意思決定する中で困っていることや、うまくいったことを意見交換しました。研修時間が足りなくなるくらい満足でき、心に響いた研修でした。

向丘訪問看護ステーション 小笠原 由香



研 | 修 | の | 案 | 内 |

(協会ホームページから申し込みます。)

看護職員指導者研修

2020年9月24日(木)・9月30日(水)・10月6日(火)

訪問看護師養成講習会公開講座

2020年9月3日(木)～11月12日(木)

未就業看護師等復職支援研修

2020年10月13日(火)・10月22日(木)

災害時看護支援ボランティアース

養成講座Ⅱ(会場:多摩休日夜間急患診療所)

2020年10月7日(水)

ELNEC-Jコアカリキュラム

看護師教育プログラム

2020年10月30日(金)・11月6日(金)

かわさき看護ジョブフォーラム

2020年11月10日(火)

あなたにもできる働き方改革

2020年11月13日(金)

医療安全研修

2020年11月19日(木)

今どきの葬儀事情

2020年11月21日(土)

合体漢字クイズ

回答

下記の漢字を組み合わせると、どんな熟語ができるでしょうか？

- | | | |
|---------------------------|---|---|
| ① 雨 + 月 + ヨ + 又 + 示 = | 雪 | 祭 |
| ② 竹 + 八 + 卽 + 刀 = | 節 | 分 |
| ③ 立 + 日 + 斤 + 木 + 人 + 三 = | 新 | 春 |

正解者3名の方に1,000円の図書カードをお送りしました。

東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

睡眠に関するお悩みはありませんか？

睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーをご用意しています。

- 睡眠の科学的メカニズム
- 社会学的な睡眠の重要性
- よりよく眠る方法
- よりよく眠るための心得
- 交代制勤務の負担を軽減する眠りのヒント など



*研修内容及び研修時間はご相談に応じます。

*研修会は複数回ご受講いただけます。

◆東洋羽毛では、研修会や勉強会、学会でのコーヒーサービスもご提供しています。

TUK 東洋羽毛

東洋羽毛首都圏販売株式会社 南東京営業所



0120-559070

編 集 後 記

COVID-19のために、ニュース発行を2回見合せましたが、ようやく本号発行に至り、委員一同安堵しています。収束までにはまだまだ時間を要しそうですが、自身の健康を保ちながら乗り切りたいものです。

川崎市看護協会 佐藤 慎子